

# 「鹿児島市坂元地区のせばる隼人舞伝統行事への取組」

## 1 学校名

鹿児島県立鹿児島東高等学校

## 2 学年・人数

ダンス部 3年生 6人 1年生3人 (計9人)

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

平成28年10月31日 部活動の時間 (本校体育館)

平成28年11月2日 部活動の時間 (本校体育館)

### (2) 発表の日時・場所

平成28年11月12日 薩摩文化の祭典 (石橋記念公園)

平成28年11月23日 せばる隼人舞祭り (坂元台小学校体育館)

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

### (1) 名称

せばる隼人舞 (せばるはやとまい)

### (2) 由来

隼人舞の起源は、一千年以上前に南九州の古代住民が、宮廷に舞を奉納していたことに由来する。この伝統を平成4年に復元させ、以来坂元台小校区では、保存会を中心に校区の伝統行事として定着してきた。坂元町のせばる公園 通称“おとん山”で毎年11月に「せばる隼人舞祭り」が行われてきたが、今年度第24回の祭りは坂元台小に場所を移した。祭りでは、校区の小中学校の児童だけでなく、鹿児島商業高校や本校の生徒も毎年参加している。

### (3) 構成等

せばる隼人舞は、①序の舞、②猿女舞、③柁舞、④十二剣舞、⑤松明の舞、⑥弓の舞、⑦神招の舞、⑧せばる隼人舞から構成されており、それぞれの舞を、小学生・中学生・高校生・保存会会員が担当している。本校で担当しているのは次の二つの舞である。

#### ①序の舞

儀式終了後に踊る (3人が巫女舞, 5人は太鼓や竹太鼓, 1人は鈴)

#### ⑦神招の舞

2人で縄と扇を使い神様を招く祭りの最初に踊る舞

## 5 保存会や地域との連携の具体

保存会には会長以下、校区の住民を中心として保存会の組織が確立されており、舞を担当する各学校の校長・教頭・担当者が顧問として参加している。

毎年11月の「せばる隼人舞祭り」の開催を最終目標にして、定期的に定例会を実施し、

舞の指導計画や祭りの準備計画を話し合っている。今年度は、本校からは定例会への参加だけでなく、「石橋公園薩摩文化の祭典」や、神事にも参加した。本校内では、ダンス部の生徒が中心となり、部活動の一環として、せばる隼人舞保存会の方から舞を教えただき発表をしている。毎年先輩から舞が引き継がれ、後輩が次年度にそれぞれの役割を担う。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の舞の指導者が本校を訪問し、舞の指導を行っている。またダンス部の先輩達から後輩へ、舞の足運びや、基本的な動きの伝承がなされている。舞で使う太鼓や竹太鼓等は学校で保管されているので練習はいつでもできる。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒】

保存会の方のご指導で、舞をしっかり練習し伝統的な行事に参加でき、地域の方々に喜んでいただけてよかった。

### 【教職員】

練習は放課後や昼休み時間等に行い熱心にまた、真剣に取り組んでいた。いつもとは違う衣装で動きの練習に戸惑いながらも古代をイメージしながら練習をしていた。保護者の理解もあり協力的である。

### 【保存会から】

学校で地域の伝統行事に毎年参加しようとする機運が高まっている。放課後や自主的な練習をし、祭り当日はしっかりした姿勢で舞を披露していただき感謝している。保存会の会議や祭り当日の参加等担当教諭も協力的である。

### 【地域の方から】

坂元校区の子どもから高齢者までがつどい古代のロマンに浸る時間は格別な想いがします。今年は祭りの場所がおとん山から坂元台小学校に移り参加しやすかった。